

開発の経緯振り返る 世田谷・図書館で「多摩田園都市展」



パネルや映像で多摩田園都市を紹介



五島慶太の構想を記した貴重な資料



都市形成の流れを巨大パネルで解説

までの歩みを考察。都市、自然、生活などのさまざまな環境の形成と調和について追究している。企画を工学部建築学科天野研究室、会場構成を伊藤朱子アトリエが担当した。

「多摩田園都市」は、東急田園都市線沿線に広がる大規模住宅都市で、五島慶太（東急グループ創設者、学校法人五島育英会初代理事長）が具体化した。

その源流をたどると、英国に始まる田園都市論、沢栄一の田園都市構想、さらに英国の社会学者エベネザー・ハワードの田園都市構想から現在までさかのぼる。会場では多摩田園都市の道のりを巨大パネルで紹介。ハワードの都市論を介し、五島の構想、五島の計画を経て骨格が形成され、菊竹清訓の「ベアシテイ計画」、東急の「アミニティプラン」「多摩田園都市」へと発展・継承する姿を解説している。アクセスや商業、住宅、自然の視点から、多摩田園都市の住みやすさについて学生たちが考察したパネルを出展。資料映像（東急多摩田園都市計画・50年を訊く）も放映し、都市の原点をはじめ構想や経緯から今日の多摩田園都市の魅力を発信している。

東京都市大学、25日まで

東京都市大学は25日まで、東京都世田谷区の世田谷キャンパス図書館で第5回企画展「多摩田園都市展」を開催している。

その源流をたどると、英国に始まる田園都市論、沢栄一の田園都市構想、さらに英国の社会学者エベネザー・ハワードの田園都市構想から現在までさかのぼる。会場では多摩田園都市の道のりを巨大パネルで紹介。ハワードの都市論を介し、五島の構想、五島の計画を経て骨格が形成され、菊竹清訓の「ベアシテイ計画」、東急の「アミニティプラン」「多摩田園都市」へと発展・継承する姿を解説している。

その源流をたどると、英国に始まる田園都市論、沢栄一の田園都市構想、さらに英国の社会学者エベネザー・ハワードの田園都市構想から現在までさかのぼる。会場では多摩田園都市の道のりを巨大パネルで紹介。ハワードの都市論を介し、五島の構想、五島の計画を経て骨格が形成され、菊竹清訓の「ベアシテイ計画」、東急の「アミニティプラン」「多摩田園都市」へと発展・継承する姿を解説している。

この記事・写真等は日刊建設工業新聞社の許諾を得て転載しています。無断で複製等、著作権を侵害する一切の行為を禁止します。

東京都市大学グループ
学校法人 **五島育英会**